

1. 件 名：日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和 2年10月 1日 10:12 ~ 12:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、平野室長補佐、落防災専門官、宮地防災専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所 保安管理部危機管理課 課長 他12名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）より、令和2年9月8日に実施した核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁より、以下の項目について見直す様伝えた

- ・抽出された課題及び対策の記載が抽象的な表現に留まっていることから、講じる対策が検証できるよう、原因と対策を具体的に整理すること。
- ・臨界の発生に係るEAL判断について、臨界事故の特徴を考慮し、核燃料サイクル工学研究所内の情報共有フロー等に課題がないか整理すること。
- ・原子力施設の状態や事故対策等の機構内外の関係機関への情報提供については、情報の即応性を維持しつつ、施設の状態、事故の進展予測、事故対策の状況等を定期的又は適切なタイミングで共有するための仕組みを検討すること。
- ・また、機構内の情報共有について、核燃料サイクル工学研究所内と機構本部間の連携について、検討すること。

原子力規制庁より、抽出された課題及び対策については、防災訓練実施結果報告書において、今後の原子力災害対応に係る改善としてまとめるように伝えた。

日本原子力研究開発機構から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

## 6. その他

配布資料：資料1 令和2年度 核燃料サイクル工学研究所防災訓練(9/8)  
における課題対応について